



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場会社名 ステラケミファ株式会社  
 コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 深田 純子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 宮下 雅之  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-4707-1512

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,187	6.6	960	1,008.9	312	73.5	238	△44.6
28年3月期第1四半期	6,745	△6.5	86	△78.3	179	△72.2	431	52.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 62百万円 (△83.6%) 28年3月期第1四半期 384百万円 (125.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
29年3月期第1四半期	円 銭 19.89	円 銭 19.37
28年3月期第1四半期	35.93	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
29年3月期第1四半期	百万円 46,328	百万円 26,353	% 53.4	円 銭 2,063.20
28年3月期	47,027	26,568	53.0	2,075.85

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 24,757百万円 28年3月期 24,909百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	17.00	—	21.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,439	4.6	1,826	387.0	1,394	386.7	1,019	114.1	84.92
通期	28,909	5.1	3,159	127.4	2,900	177.8	1,971	48.9	164.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	12,300,000 株	28年3月期	12,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	300,547 株	28年3月期	300,547 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	11,999,453 株	28年3月期1Q	11,999,531 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策・金融政策の効果を背景に企業収益や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の減速に加え、円高・株安が進むなど、依然として先行きは不透明な状況となっています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は71億87百万円（前年同期比6.6%増）となりました。電池部門の販売が増加したことにより売上高が増加しました。

利益面におきましては、電池部門の販売増加や原材料購入価格が下降したことにより営業利益は9億60百万円（同1,008.9%増）となりました。一方、原材料購入に充てる外貨の調達において取り組んでいるデリバティブ取引に関し、期末にかけて急速に円高が進行した影響によりデリバティブ評価損が計上されたことから、経常利益は3億12百万円（同73.5%増）となりました。また、前年同期に北九州工場の建設に伴う補助金収入を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億38百万円（同44.6%減）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月28日公表の平成29年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しています。

詳細は、平成28年8月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円増加しています。

#### (追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,454	9,612
受取手形及び売掛金	7,075	7,658
商品及び製品	1,779	2,078
仕掛品	1,126	1,045
原材料及び貯蔵品	1,005	969
その他	849	991
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	22,277	22,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,763	7,625
機械装置及び運搬具（純額）	8,375	8,028
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	251	81
その他（純額）	1,219	1,161
有形固定資産合計	23,076	22,364
無形固定資産		
その他	146	138
無形固定資産合計	146	138
投資その他の資産		
その他	1,563	1,523
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	1,527	1,486
固定資産合計	24,750	23,989
資産合計	47,027	46,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,195	1,963
短期借入金	3,648	3,658
1年内返済予定の長期借入金	3,386	3,400
未払法人税等	123	149
賞与引当金	316	159
その他	1,518	1,431
流動負債合計	11,189	10,762
固定負債		
長期借入金	6,939	6,523
退職給付に係る負債	708	702
役員退職慰労引当金	536	539
資産除去債務	490	488
その他	595	957
固定負債合計	9,270	9,211
負債合計	20,459	19,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,180	3,180
資本剰余金	5,503	5,503
利益剰余金	16,226	16,187
自己株式	△496	△496
株主資本合計	24,413	24,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	9
繰延ヘッジ損益	△7	—
為替換算調整勘定	490	373
その他の包括利益累計額合計	495	383
新株予約権	3	3
非支配株主持分	1,656	1,593
純資産合計	26,568	26,353
負債純資産合計	47,027	46,328

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,745	7,187
売上原価	5,825	5,305
売上総利益	920	1,882
販売費及び一般管理費	833	922
営業利益	86	960
営業外収益		
為替差益	173	—
受取地代家賃	9	6
その他	68	25
営業外収益合計	251	32
営業外費用		
支払利息	19	13
為替差損	—	217
減価償却費	—	28
持分法による投資損失	83	9
デリバティブ評価損	54	404
その他	1	7
営業外費用合計	158	680
経常利益	179	312
特別利益		
固定資産売却益	3	5
補助金収入	480	—
特別利益合計	483	5
特別損失		
固定資産廃棄損	13	9
固定資産売却損	1	0
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	15	9
税金等調整前四半期純利益	648	307
法人税等	228	117
四半期純利益	419	189
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益	431	238

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	419	189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△3
繰延ヘッジ損益	36	7
為替換算調整勘定	△64	△97
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△33
その他の包括利益合計	△35	△126
四半期包括利益	384	62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	126
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	5,631	1,053	—	6,684	60	6,745
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	750	—	751	55	807
計	5,633	1,803	—	7,436	115	7,552
セグメント利益 又は損失(△)	43	187	△138	93	△11	82

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業、ムーンライト事業(蓄光製品の製造販売)およびエネルギーマネジメント事業(ネットワーク関連機器およびソフトウェア開発販売)を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	93
「その他」の区分の利益	△11
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	86

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	6,105	1,032	—	7,137	49	7,187
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	694	—	697	49	747
計	6,107	1,727	—	7,835	99	7,934
セグメント利益 又は損失（△）	979	180	△209	950	5	956

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. ムーンライト事業（蓄光製品の製造販売）およびエネルギーマネジメント事業（ネットワーク関連機器およびソフトウェア開発販売）は前連結会計年度をもって撤退しています。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	950
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	960

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。